


## 助成事業実施報告書

公益財団法人みらいファンド沖縄 御中

(対象事業・団体)

報告書作成日	2012年12月19日	
採択団体名	NPO 法人おきなわCAPセンター	
代表者氏名	長田 清	
プログラム名	寄付と助成のプログラム ぱくと	
事業コード	p0107	
助成対象 (採択) 事業	CAPプログラムの「お試しセット」プレゼント事業	




(助成事業実施の報告内容)

実施場所	沖縄県立西崎特別支援学校
実施日	2012年 10月 24日
実施概要	<input type="checkbox"/> 実施内容 西崎特別支援学校の教職員対象の大人ワークショップ <input type="checkbox"/> 実施日 2012年10月24日 15:30~17:00 <input type="checkbox"/> 実施場所 会議室 <input type="checkbox"/> 対象者 教職員 2/人 <input type="checkbox"/> その他 子ども向けワークショップの実施には至らなかったが、大人ワークショップの内容をふまえて、次年度以降の事業計画に活かしていきたいとのことだった。今後も連携して取り組みたい。
社会への報告	ブログ等にアップした報告記事があれば URL を記入してください。
メディア掲載	新聞・雑誌等への掲載があった場合、この欄に記入の上、コピーを添付してください。

(注意事項)

- パクト毎に提出が必要です。A41枚以内に納めてご記入ください。
- 助成事業終了後6ヵ月を経過しても本報告書の提出がない場合、寄付募集支援をただちに停止します。
- 採択事業の寄付募集支援期間終了後、記録写真の提供を依頼することがあります。

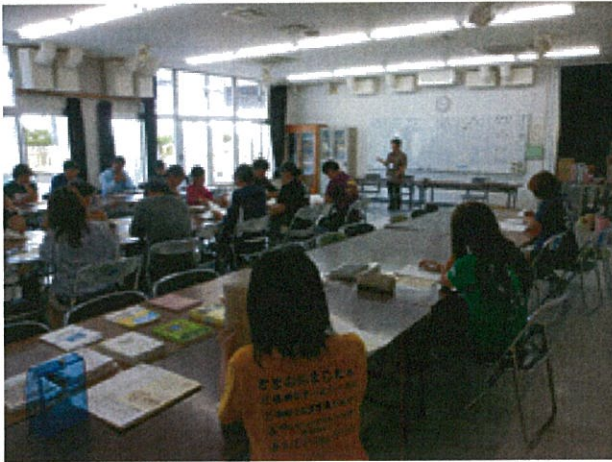
事務局記入欄

報告書受付日	担当チェック	備考	承認	事務局長
2013/1/9				

【添付資料】プロセス・感想など

□事業の様子

参加した先生方は真剣にメモをとりながら耳を傾け、子ども模擬ワークショップも積極的に発言、参加していました。



講話の様子



生徒向けの模擬紹介

(講座の内容)

子どもへの暴力とは？ 従来の暴力防止方法とCAPプログラムの違い。 人権、エンパワメント、コミュニティの考え方。 普段から大人にできること。 緊急時にできること。 虐待についての正しい知識と虐待に気付く手がかり。 適切なサポートについてなど。

□参加者の反応

- 実際に子どもに接する上で参考になることがたくさんあった。
- 内容は非常によいと思うし、手法を活かそうと思うが、ワークショップにかかる費用がネックになると思います。
- とてもためになりました。子育ても真っ只中で、個人的にも役に立ちました。すぐ実践できそうだと思います。

□事業の成果

アンケートでは、参加者全員が「子どもたちにもワークショップを受けさせたい」と回答してくださり、CAPプログラムの必要性や、有効性を理解していただくことができました。また、自身にとっても「とても役に立つ」「役に立つ」と回答しており、改めて教師の役割について考える機会となったこと、日々の生活に活かせる内容となりました。

□寄付者へのメッセージ

今回は職員へのワークショップ提供ができました。特別支援学校の先生方と語り合う場を得ることで、活動を知っていただき、こどもたちの人権が尊重される社会をめざして互いに協力していくスタートとなります。ご寄付いただき、どうもありがとうございました。


□その他

偶然ですが、職員の中に今回のばくとのためのチャリティーイベント「沖縄平和記念公園へ Run for Peace」でご協賛いただいた大宮工機さんのご家族の方がいらして不思議な縁を感じました。

## 助成事業実施報告書

公益財団法人みらいファンド沖縄 御中

(対象事業・団体)

報告書作成日	2012年 12月 19日	
採択団体名	NPO 法人おきなわCAPセンター	
代表者氏名	長田 清	
プログラム名	寄付と助成のプログラム ぱくと	
事業コード	p0107	
助成対象(採択)事業	CAPプログラムの「お試しセット」プレゼント事業	

(助成事業実施の報告内容)

実施場所	沖縄県立中部農林高校
実施日	2012年11月12日、12月4日、5日、7日、14日
実施概要	<p><u>□実施内容</u></p> <p>中部農林高校の保護者・職員向けの大人ワークショップ実施 福祉科、造園科1年生対象の子どもワークショップ実施</p> <p><u>□実施日</u></p> <p>2012年11月12日 18:00~19:30 保護者・教職員対象ワークショップ " 19:30~20:30 子どもワークショップの打ち合わせ 12月4日 (11:15~13:05) 12月5日 (13:55~15:45)、福祉科1年対象 12月7日 (13:55~15:45)、12月14日 (13:55~15:45) 造園科1年対象</p> <p><u>□実施場所</u></p> <p>視聴覚教室</p> <p><u>□対象者</u></p> <p>中部農林高校の保護者・教職員、福祉科及び造園科の1年生</p> <p><u>□参加者数と参加者の内訳</u></p> <p>保護者・教職員：22人、福祉科36人、造園科39人</p> <p><u>□その他</u></p> <p>教職員ワークショップには、校長先生はじめ沢山の先生が参加し、積極的に発言していただいたのが印象的だった。</p>
社会への報告	ブログ等にアップした報告記事があればURLを記入してください。
メディア掲載	新聞・雑誌等への掲載があった場合、この欄に記入の上、コピーを添付してください。

事務局記入欄

報告書受付日	担当チェック	備考	承認	事務局長
2013/1/9				

□事業の様子



←生徒へのワークショップの前に、職員と保護者合同で事前学習としておとなワークショップを実施しました。校長先生、教頭先生をはじめ、母親委員会の保護者の方が集まりました。終始和やかな空の中、積極的に参加していただきました。

(講座の内容)

子どもへの暴力とは？ 従来の暴力防止方法とCAPプログラムの違い。 人権、エンパワメント、コミュニティの考え方。 普段から大人にできること。 緊急時にできること。 虐待についての正しい知識と虐待に気付く手がかり。 適切なサポートについてなど。

□参加者の反応

- 自分の誤った情報や考え方を認識しました。是非、生徒に講座等をお願いします。
- 担任として「～しないよ」「～しなさい」と、ついつい命令になってしまう自分に気づきました。明日からまた気持ちを新しくして、生徒が話せる雰囲気づくり「安心」「自信」「自由」を目指します。
- 小中高、父母、教師対象にぜひはげしく講演活動をなさってください。
- とてもわかりやすく楽しい時間でした。

□事業の成果

アンケートでは、回答者全員（18人）が「子どもたちにもワークショップを受けさせたい」と回答してくださり、CAPプログラムの必要性や、有効性を理解していただくことができた。また、自身にとっても「とても役に立つ」「役に立つ」と回答しており、改めて保護者、教師の役割について考える機会となったこと、日々の生活に活かせる内容となった。

□寄付者へのメッセージ

今回、保護者と職員にワークショップを実施することができ、その後生徒にもワークショップ実施ができたので、家族や教室で、より学びを深めることができると思います。本来は教育行政の予算で実施するべきかとは思いますが、学校等での予算確保が難しい中、ご寄付いただけたこと感謝します。今回の実施により、活動の重要性への理解を深めることができれば、学校での今後の取り組みにもつながっていくと考えます。この度はありがとうございました。

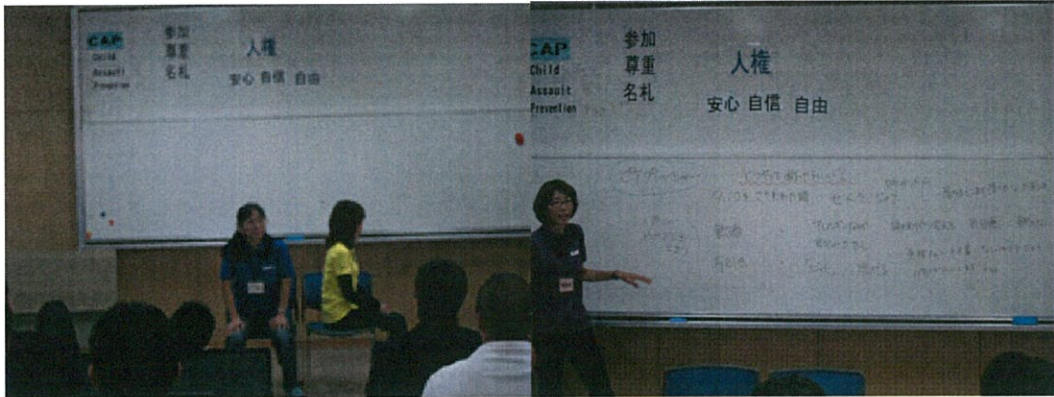
□その他

先生方もワークショップ実施に向けて周囲に呼びかけ、本事業への支援者を見つけられました。

## 【添付資料】プロセス・感想など

### □事業の様子

写真は造園科1年生を対象にワークショップをしているところです



### (講座の内容)

暴力とは？人権とは？チカン、暴漢に襲われたときの対処法、いじめへの対処法、クラスのいじめを止めるためには？ 親からの体罰について考える、デートDVについて、友だちからのプレッシャーと、友だちをサポートする方法など。

### □ 参加者の反応

- 2日間本当に楽しかったー!!こんなに暴力について考えたのは初めて。当てはまるどころかもあった！親からの体罰ってあっていいのかなって思う。分からないけど、する方もされる方も良い気持ちではないと思った。色々なことを考える機会があってよかった!!
- デートDVとか聞いてて、やっぱり自分の気持ちを伝えないといけないんだと思いました。聞いててああっていう所もたくさんあって、すごくわかりやすく説明などもしてくれて、とても良かったです。知らないよりは授業を受けてて本当に良かった！
- この2日間、とても楽しかったし、色々な意見出して、きいてもらって、学ぶことができ、とても良かったです。自分にも「安心、自信、自由」という権利があるし、相手もあるから、お互いに尊重しながら、楽しい生活を送っていききたいし、楽しくて幸せな恋がしたいなと思いました。CAP方たちはとてもいい方たちで、話をきいて、出会えてよかったなと思いました。また会いたいです。

### □ 事業の成果

見学した先生方から「すごくリアリティがあって良かったし、すぐに間をおかずみんなの意見を確認する事で、心にとめる事が少しでもできるような気がしました」「インパクトのある、生徒の心に残る講座を実施していただき、とても有難く思います」という感想をもらいました。生徒たちは、人権を自分のこと、身近な問題として考えることができました。学校生活においても、社会に出てからも役立つ内容を伝えることができたのが成果です。

### □寄付者へのメッセージ

高校生にとって、暴力についてまじめに考えたり、お互いの意見を言い合う機会はなかなかありません。今回は寄付をいただくことで、CAPが授業に入ることができました。きっと高校生活、大人になってからも役立つことでしょう。こどもたちのためにご支援いただき、ありがとうございました。


### □その他

福祉科は女子が多く、造園科は男子が大多数で、クラスの雰囲気はだいぶ違うが、それぞれにいい学びの機会となった。造園科のワークショップには、みらいファンドより我如古さんが見学にきてくださいました。

## 助成事業実施報告書

公益財団法人みらいファンド沖縄 御中



(対象事業・団体)

報告書作成日	2012年 12月 12日	
採択団体名	NPO 法人おきなわCAPセンター	
代表者氏名	長田 清	
プログラム名	寄付と助成のプログラム ぱくと	
事業コード	p0107	
助成対象 (採択) 事業	CAP プログラムの「お試しセット」プレゼント事業	

(助成事業実施の報告内容)

実施場所	沖縄県立高等特別支援学校
実施日	2012年 12月 18日、12月 20日
実施概要	<p><input type="checkbox"/>実施内容</p> <p>高等特別支援学校の3年生対象のワークショップ実施</p> <p><input type="checkbox"/>実施日</p> <p>2012年 12月 10日 11:00~12:00 打ち合わせ</p> <p>2012年 12月 18日 9:00~9:50 農業・園芸コース 1日目</p> <p>〃 10:00~10:50 クリーニング・窯業コース 1日目</p> <p>2012年 12月 20日 9:00~9:50 農業・園芸コース 2日目</p> <p>〃 10:00~10:50 クリーニング・窯業コース 2日目</p> <p><input type="checkbox"/>実施場所</p> <p>沖縄県立高等特別支援学校 3年1組教室及び3年5組教室</p> <p><input type="checkbox"/>対象者</p> <p>沖縄県立高等特別支援学校 3年生</p> <p><input type="checkbox"/>参加者数と参加者の内訳</p> <p>農業・園芸コース 18人、クリーニング・窯業コース 17人</p> <p>その他、引率、見学の先生7人</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p> <p>職員・保護者ワークショップと、木工・縫製コースの12人を対象とした子どもワークショップについては、PTAの予算で実施し、学校・保護者と連携しての行事となった。</p>
社会への報告	ブログ等にアップした報告記事があればURLを記入してください。
メディア掲載	新聞・雑誌等への掲載があった場合、この欄に記入の上、コピーを添付してください。

事務局記入欄

報告書受付日	担当チェック	備考	承認	事務局長
2013/1/19				

【添付資料】 プロセス・感想など

□事業の様子



←事前の保護者・教職員向けの大人ワークショップのようです。こどもたち向けのワークショップを模擬体験しながら、子どもをサポートすることについて考えました。

\*このワークショップについては、ぱくとを活用ではなく、学校からの予算で行いました。

\*子ども向けのワークショップについては、写真はありません。

(講座の内容) \* こども向けワークショップについて

暴力とは？ 人権とは？ チカン、暴漢に襲われたときの対処法、いじめへの対処法、クラスのいじめを止めるためには？ 親からの体罰について考える デートDVについて 友だちからのプレッシャーと、友だちをサポートする方法など。

□参加者の反応

●断るゆうきや、逃げるゆうきも必要だと思いました。この2日間は、イジメについてや、ぼうりよくについて勉強して相手のくるしみやつらさをかんじました。

●いっしょうけんめい、わかりやすく、つたえようとしてくれるから、おもしろかったです。人とのせっしかたを考えてみようかな？と思いました。

●いっしょうけんめい、わかりやすく、つたえようとしてくれるから、おもしろかったです。人とのせっしかたを考えてみようかな？と思いました。

●何かこまったことがあったら、すかさずすぐに親が相談しやすい相手に相談することは大事なんだなあということがわかった。

□事業の成果

生徒達が社会に出て行く前に、人権を自分のこととして大事にすること、暴力に対処する方法を具体的に伝えることができた。

□寄付者へのメッセージ

内容を丁寧に楽しく伝えることができるのは、少人数で丁寧に行うからです。今回は、寄付をいただいたお陰で、当初3年生全員で行うという計画だったのを、3チームに分けて実施することができました。おかげさまで、生徒達にも十分に理解してもらうことができました。今後の人生できっと役にたつことと思います。

□その他

保護者・教職員ワークショップと、生徒向けの1チームは、学校からの予算で実施し、残り2チームにぱくとを活用しました。少人数で実施出来ない場合、CAPプログラムを提供することはできません。内容がいいとわかっていても予算がとれない現状があるなかで、16人前後の小グループ編成に出来たことは、ぱくとのお陰です。